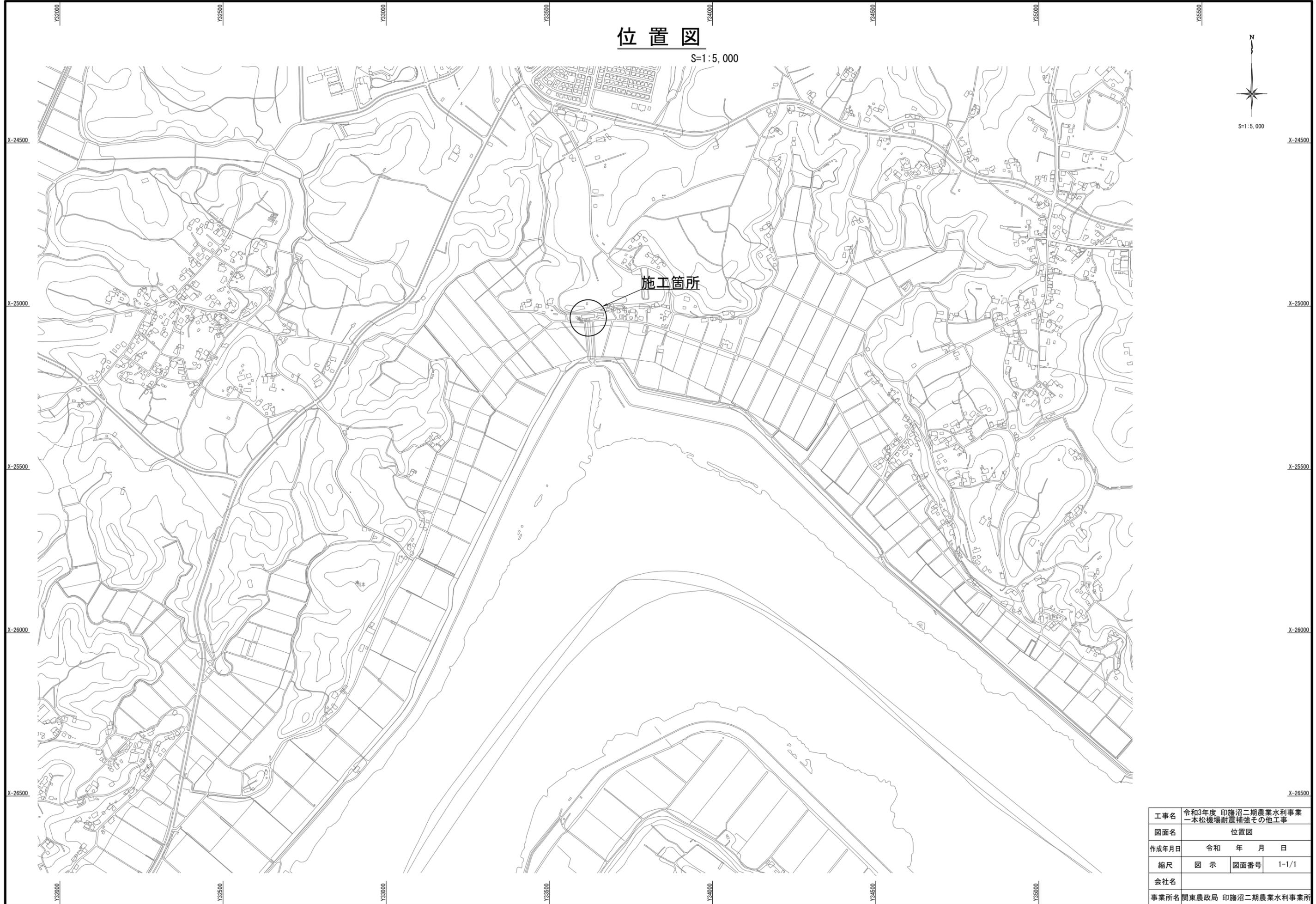
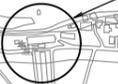


位置図

S=1:5,000



施工箇所



工事名	令和3年度 印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	位置図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	図示	図面番号	1-1/1
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

特記仕様書

1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。

2. 本特記仕様書における採用事項

①. 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。

②. 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。

③. 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。

○印と※印を付した場合は共に適用する。

3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。

○国土交通省大臣官房長官官繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版

○国土交通省大臣官房長官官繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版

・国土交通省大臣官房長官官繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成31年版

4. その他事項

・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する

・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする

・各項目欄の番号(例：●公○章***、公***、●公***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する

・各項目欄の番号(例：1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする

章	項目	特記事項
1章 各章共通事項	1.4 工事実績情報登録 1.* 建築基準法の風圧・積雪に関する規定 3.3 電気保安技術者 3.5 施工条件 3.12 発生材の処理等 4.* 使用材料 5.2 施工数量調査 5.3 調査のための破壊部分の補修 6.5 施工の検査等 6.9 化学物質の濃度測定	(CORINS)への登録： ・行う ・行わない 基準風速： ・ $V_o=3.4$ (m/s) 平成12年建告第1454号第2 地表面粗度区分： ・I ・II ・III ・IV 積雪区分： ・区域=(32)/ $\alpha=0.0009/\beta=0.00/\gamma=0.21/R=0$ 平成12年建告第1445号 別表 技術者の配置： ・配置する ・配置しない 施工順序等の制約： ・無し ・有り【 ・現場説明書による ・図示 ・ 】 工事車両の駐車場所： ・図示 ・現場説明書による ・ 資材、機材置場： ・図示 ・現場説明書による ・ 発生土仮置場： ・図示 ・現場説明書による ・ その他の施工条件： ・図示 ・現場説明書による ・ 発注者への引渡発生材： ※金属類及びPCB含有物 ・図示 ・ 特別管理産業廃棄物の有無： ・無し ・有り【分類： ・図示 ・ 】 発生材のリサイクル： ・図示 ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理： ・製造業者処分委託 ・管理型最終処分場埋立処分 石綿・ひ素・カドミウム非含有せっこうボードの処理： ・管理型最終処分場埋立処理 ・再資源化施設での再資源化 PCB含有シーリングの調査方法： ・図示 ・ PCB含有シーリングの撤去方法： ・図示 ・ 特別管理産業廃棄物の分析調査： ・行わない ・行う ・仮設材以外の全ての建築材料（仕上材、下地材、副資材）のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。 調査範囲： ・図示 ・ 調査方法： ・非破壊検査 ・破壊検査 ・ 補修方法： ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する 見本施工の実施： ・実施しない ・実施する【実施箇所等： ・図示 ・ 】 濃度測定： ・未実施 ・実施 化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。 測定対象物質： ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・図示 ・ 測定方法： ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ； 測定対象室： ・図示 ・ 測定箇所数： ・図示 ・ 箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。

章	項目	特記事項
1章 各章共通事項	8.1 完成時の提出図書 8.2 完成図 8.3 保全に関する資料	完成提出図書： ※1.8.2及び1.8.3による ・協議による ・図示 種類： ※表1.8.1 ・一般図 ・実施設計図一式 記入内容： ※表1.8.1 ・図示 ・ 提出要領： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3版原図（CAD作図による） ・CADデータ ・ 施工計画書： ・監督員の承諾を受けたもの ・ 施工図： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3縮小版第2原図 ・CADデータ ・監督員の承諾を受けたもの ・ ・保全に関する資料 提出部数： ※各2部 ・部

章	項目	特記事項
2章 仮設工事	①3 騒音・粉じん等の対策 ②1 足場等 3.1 既存部分の養生 3.2 仮設間仕切り ④1 監督職員事務所等 4.* 工事用水及び電力	騒音・粉じん等の対策： ・防音パネル ○防音シート 防音パネル等の設置範囲： ・図示 ・ 内部足場の種別： ・脚立 ○足場板 ・ローリングター ・ 外部足場の設置、種別： ・設置しない ○設置する 【○枠組足場 ・単管足場 ・】 保護シートの設置： ○設置する ・設置しない 材料等の運搬方法： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ○E種 既存部分養生材料： ・ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する 既存家具養生材料： ・ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する 既存ブラインド、カーテンの養生方法： ・指定場所に保管し再設置 ・指定場所に保管し清掃の上再設置 ・ 仮設間仕切り： ・無し ・有り 設置箇所： ・図示 ・ 種別： ・A種 ・B種 ・C種 仮設扉： ・不要 ・必要【設置箇所： ・図示 ・任意の場所 ・】 仮設扉の種別： ・鋼製 ・木製 ・図示 ・ 監督職員事務所等の設置： ・必要 ○不要 ○監督職員事務所の規模、設備、備品等 ・（ ）号（会議室（ ）m2 を含む） ・（ ）号に会議室（ ）m2 を加えた規模 ・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他； 受注者事務所の設置： ・必要 ○不要 ○受注者事務所の規模、設備、備品等 ・（ ）号（会議室（ ）m2 を含む） ・（ ）号に会議室（ ）m2 を加えた規模 ・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他； 構内既存の用水施設： ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償） 構内既存の電力施設： ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償） ・動力以外利用できる（ ・有償 ・無償）

章	項目	特記事項																					
3章 防水改修工事	1.1 一般事項 ①3 施工一般 ①4 改修工法の種類及び工程	① 一般事項 防水工事の保証書の提出及び保証年限 ・保証年限10年；7スファルト防水 ・合成高分子ルーフィング 防水 ○保証年限5年；塗膜防水 ・その他； <保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各2通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける> 降雨等による養生方法： ※標準仕様書3.1.3(5)による ・図示 ・ ◎防水改修工法の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備考(特記工程)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○屋上防水押え</td> <td>P1B工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ルーフィング防水押え</td> <td>POS機械工法</td> <td>*1工程有り</td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td></td> <td>*2工程無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>M4SI工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法の種類	備考(特記工程)	○屋上防水押え	P1B工法		・ルーフィング防水押え	POS機械工法	*1工程有り	・浴室防水押え		*2工程無し		M4SI工法							
施工部位	工法の種類	備考(特記工程)																					
○屋上防水押え	P1B工法																						
・ルーフィング防水押え	POS機械工法	*1工程有り																					
・浴室防水押え		*2工程無し																					
	M4SI工法																						

章	項目	特記事項																																																																								
3章 防水改修工事	①4 改修工法の種類及び工程 2.5 ルーフドレ回りの処理 ②6 既存下地の処理 3.2 材料 3.3 種別及び工程	◎シーリング改修工法の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○外壁コンクリート打継目地</td> <td>シーリング 充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外壁コンクリート誘発目地</td> <td>シーリング 再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外壁開口部建具廻り目地</td> <td>シーリング 再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 既存防水層の処理</p> <p>2重ドレンの設置： ・行わない ・行う（施工箇所； 補修箇所の形状、長さ、数量等： ・下表による ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>形状・長さ数量等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・脆弱部の補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・既存目地の欠損部補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・欠損部の補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水層表面の仕上げ塗装の除去</td> <td>m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存防水層表面の仕上げ塗装の除去： ・行わない ○行う 設備架台等防水層取り合い部の処置： ○協議による ・図示 ・ 立上り防水層の処置： ○撤去する ・撤去しない【補修方法： ・標準仕様書3.2.6(4)による】 ・図示</p> <p>3. アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ： ※表3.3.3～3.3.9による ・製造所仕様による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ： ※表3.3.3～3.3.9による ・製造所仕様による 保護防水断熱工法の断熱材の材質： ・図示 ・製造所仕様による 保護防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・50mm ・35mm ・ 露出防水断熱工法の断熱材の材質： ・図示 ・製造所仕様による 露出防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・50mm ・35mm ・ 絶縁シートの材料の指定： ※3.3.2(10)による ・製造所仕様による 保護コンクリートの設計基準強度： ※18N/mm2 ・21N/mm2 ・ 保護コンクリートのスランプ： ※18cm ・15cm ・ 防水立上がり部の保護： ・湿式 ・乾式 ・ 立上り部の保護レンガの材料： ※3.3.2(15)による ・</p> <p>◎屋根保護防水 防水立上りの保護コンクリートの適用： ・適用しない ・適用する 防水立上りの保護コンクリートの工法： ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・P1B/・B-1 ・B-2 ・B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・P1B1/・B1-1 ・B1-2 ・B1-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1B1/・B1-1 ・B1-2 ・B1-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P2A1/・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P2A/・A-1 ・A-2 ・A-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M4C/・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M3D/・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P0D/・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>>M3D工法及びP0D工法の脱気装置 脱気装置の種類： ※製造所仕様による ・図示 ・ 脱気装置の設置数量： ※製造所仕様による ・図示 ・</p> <p>◎屋根露出防水絶縁断熱工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・P0D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M3D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類： ※製造所仕様による ・図示 ・ 脱気装置の設置数量： ※製造所仕様による ・図示 ・</p> </p></p>	施工部位	工法の種類	備考	○外壁コンクリート打継目地	シーリング 充填工法		○外壁コンクリート誘発目地	シーリング 再充填工法		○外壁開口部建具廻り目地	シーリング 再充填工法					施工部位	形状・長さ数量等	備考	・脆弱部の補修	m		・既存目地の欠損部補修	m		・欠損部の補修	m		・防水層表面の仕上げ塗装の除去	m		施工部位	工法/種別	備考	・PHR階屋上	・P1B/・B-1 ・B-2 ・B-3		・R階屋上	・P1B1/・B1-1 ・B1-2 ・B1-3	断熱材：t=		・T1B1/・B1-1 ・B1-2 ・B1-3	断熱材：t=		・P2A1/・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	断熱材：t=		・P2A/・A-1 ・A-2 ・A-3		施工部位	工法/種別	備考	・PHR階屋上	・M4C/・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	仕上塗料；	・R階屋上	・M3D/・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；		・P0D/・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；	施工部位	工法/種別	備考	・PHR階屋上	・P0D1/・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；	・R階屋上	・M3D1/・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；		・M4D1/・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；
施工部位	工法の種類	備考																																																																								
○外壁コンクリート打継目地	シーリング 充填工法																																																																									
○外壁コンクリート誘発目地	シーリング 再充填工法																																																																									
○外壁開口部建具廻り目地	シーリング 再充填工法																																																																									
施工部位	形状・長さ数量等	備考																																																																								
・脆弱部の補修	m																																																																									
・既存目地の欠損部補修	m																																																																									
・欠損部の補修	m																																																																									
・防水層表面の仕上げ塗装の除去	m																																																																									
施工部位	工法/種別	備考																																																																								
・PHR階屋上	・P1B/・B-1 ・B-2 ・B-3																																																																									
・R階屋上	・P1B1/・B1-1 ・B1-2 ・B1-3	断熱材：t=																																																																								
	・T1B1/・B1-1 ・B1-2 ・B1-3	断熱材：t=																																																																								
	・P2A1/・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	断熱材：t=																																																																								
	・P2A/・A-1 ・A-2 ・A-3																																																																									
施工部位	工法/種別	備考																																																																								
・PHR階屋上	・M4C/・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	仕上塗料；																																																																								
・R階屋上	・M3D/・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；																																																																								
	・P0D/・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；																																																																								
施工部位	工法/種別	備考																																																																								
・PHR階屋上	・P0D1/・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；																																																																								
・R階屋上	・M3D1/・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；																																																																								
	・M4D1/・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；																																																																								

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	特記仕様書(1)【建築】		
作成年月日			
縮尺	—	図面番号	2-1/10
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

章	項目	特記事項																																											
4章 外壁改修工事	②2工法別仕様材料	注入口付アンカーピンの材質： ※ステンレス鋼(SUS304・φ6mm) ・図示 ・ モルタル塗替え工法の材料： ・現場調合材料 ・既調合材料 モルタル塗替え工法の既製目地材の適用： ・適用しない ・適用する(目地寸法)； タイル貼替え、及びタイル部分貼替え工法用接着剤： ・ポリアセトモルタル ・エポキシ樹脂 ・変成シリコン樹脂 ・ポリアクリル樹脂 ・シリコン樹脂 タイルの種類： ・図示 ・下表による																																											
	施工箇所	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形式・形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">用途による 区分</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">釉薬</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・役物</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・役物</td> </tr> </tbody> </table>	形式・形状寸法 (mm)	用途による 区分	耐凍害性		色		釉薬		備考	有	無	標準	特注	施釉	無釉			・	・	・	・	・	・	・役物			・	・	・	・	・	・	・役物										
	形式・形状寸法 (mm)	用途による 区分			耐凍害性		色		釉薬			備考																																	
			有	無	標準	特注	施釉	無釉																																					
			・	・	・	・	・	・	・役物																																				
			・	・	・	・	・	・	・役物																																				
		タイルの試験張り： ・行わない ・行う タイルの見本焼き： ・行わない ・行う ◎塗り仕上げ用材料 薄付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有(
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形外装 薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・外装薄塗材 E</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形外装 薄塗材 E</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	・外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・可とう形外装 薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・外装薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状	吹付け	・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状	こて塗り	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・可とう形外装 薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け	・平たん状・凹凸状	こて塗り	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・凹凸状	吹付け											
	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法																																										
	・外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け																																										
・ゆず肌状・さざ波状		ロー塗り																																											
・可とう形外装 薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け																																											
	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																											
・外装薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状	吹付け																																											
	・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状	こて塗り																																											
	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																											
・可とう形外装 薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け																																											
	・平たん状・凹凸状	こて塗り																																											
	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																											
・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																											
	・凹凸状	吹付け																																											
	薄付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有(
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け																																						
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法																																											
・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け																																											
	厚付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有(
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>ロー塗り</td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	・外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・外装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り		・平たん状・凹凸状・ひき起し	ロー塗り																											
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法																																											
・外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け																																											
	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																											
・外装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け																																											
・外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り																																											
	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ロー塗り																																											
	複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ○無 ・有(不燃認定品																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理○凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 Si</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材 RE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>・平たん状・さざ波</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 RE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 CE</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	・複層塗材 CE	・凸部処理○凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状	ロー塗り	・複層塗材 Si			・複層塗材 E			○複層塗材 RE			・可とう形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け		・ゆず肌状	ロー塗り	・防水形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・防水形複層塗材 E	・ゆず肌状	ロー塗り	・防水形複層塗材 RS			・防水形複層塗材 RE			・可とう形改修塗材 E	・平たん状・さざ波	ロー塗り	・可とう形改修塗材 RE	・ゆず肌状	吹付け	・可とう形改修塗材 CE		
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法																																											
・複層塗材 CE	・凸部処理○凹凸模様	吹付け																																											
	・ゆず肌状	ロー塗り																																											
・複層塗材 Si																																													
・複層塗材 E																																													
○複層塗材 RE																																													
・可とう形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																											
	・ゆず肌状	ロー塗り																																											
・防水形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																											
・防水形複層塗材 E	・ゆず肌状	ロー塗り																																											
・防水形複層塗材 RS																																													
・防水形複層塗材 RE																																													
・可とう形改修塗材 E	・平たん状・さざ波	ロー塗り																																											
・可とう形改修塗材 RE	・ゆず肌状	吹付け																																											
・可とう形改修塗材 CE																																													

章	項目	特記事項																																														
4章 外壁改修工事	2.2工法別仕様材料	耐候性： ※耐候形3種 ・ 上塗材溶媒： ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 上塗材樹脂： ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアクリル系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ※つやあり ・つやなし ・メタリック ・ 防水形の増塗材の適用： ・する ・しない																																														
	3.4 樹脂注入工法	3. コンクリート打放し仕上げ外壁の改修 注入工法の種類： ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ ◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ※200～300mm ・300～400mm ・ 注入量： ・約 cc/m ◎手動式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・ ◎機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・ コア抜き検査： ・行わない ・行う【個数： ※1個/500m ・】 コア抜き取り部の補修方法： ・エポキシ樹脂モルタル充填 ・ポリアセトモルタル充填 ・																																														
	3.5 珪砂材充填工法	◎充填 充填材： ・シーリング用材充填 ・シーリング材の上にポリアセト充填 ・可とう性エポキシ樹脂充填 ・																																														
	3.7 充填工法	材料： ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリアセトモルタル ・																																														
	4.5 樹脂注入工法	4. モルタル塗り仕上げ外壁の改修 ◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ※200～300mm ・300～400mm ・ 注入量： ・約 cc/m ◎手動式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・ ◎機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・ コア抜き検査： ・行わない ・行う【個数： ※1個/500m ・】 コア抜き取り部の補修方法： ・エポキシ樹脂モルタル充填 ・ポリアセトモルタル充填 ・																																														
	4.6 珪砂材充填工法	◎充填 充填材： ・シーリング用材充填 ・シーリング材の上にポリアセト充填 ・可とう性エポキシ樹脂充填 ・																																														
	4.8 充填工法	材料： ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリアセトモルタル ・																																														
	4.9 珪砂塗替え工法	塗り厚が25mmを超える場合： ・図示 ・																																														
	4.10～4.15 アンカーピンニング**工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法名称</th> <th colspan="2">アンカーピン(本/m)</th> <th colspan="2">注入孔数(箇所/m)</th> <th rowspan="2">1箇所当り 充填量(cc)</th> </tr> <tr> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※50</td> </tr> </tbody> </table>	工法名称	アンカーピン(本/m)		注入孔数(箇所/m)		1箇所当り 充填量(cc)	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分	・アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	16	25	16	25	※25	・アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	13	20	12	20	※25	・アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	13	20	12	20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	9	16	9	16	※50
	工法名称	アンカーピン(本/m)		注入孔数(箇所/m)		1箇所当り 充填量(cc)																																										
一般部分		指定部分	一般部分	指定部分																																												
・アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	16	25	16	25	※25																																											
・アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	13	20	12	20	※25																																											
・アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	13	20	12	20	※50																																											
・注入口付アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25																																											
・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																											
・注入口付アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	9	16	9	16	※50																																											
5.5 樹脂注入工法	5. タイル張り仕上げ外壁の改修 注入工法の種類： ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ ◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ※200～300mm ・300～400mm ・ 注入量： ・約 cc/m ◎手動式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・ ◎機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・																																															

章	項目	特記事項																																																			
4章 外壁改修工事	5.5 樹脂注入工法	コア抜き検査： ・行わない ・行う【個数： ※1個/500m ・】																																																			
	5.6 Uカット材充填工法	◎充填 充填材： ・シーリング用材充填 ・シーリング材の上にポリアセト充填 ・可とう性エポキシ樹脂充填 ・																																																			
	5.7 タイル部分張替え工法	張付け材料： ・ポリアセトモルタル ・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリアクリル樹脂 ・シリコン樹脂 ・																																																			
	5.8 タイル張替え工法	伸縮目地の位置： ※表4.5.1による ・図示 ・ 誘発目地の位置： ※表4.5.1による ・図示 ・ タイル下地モルタルの接着力試験： ・行う ・行わない ◎タイル張り工法																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法</th> <th>接着力試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・密着張り ・改良圧着張り</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・改良積上げ張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マスク張り ・モザイク張り ・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・陶磁器タイル接着剤張り</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法	接着力試験		・密着張り ・改良圧着張り	・行う ・行わない		・改良積上げ張り			・マスク張り ・モザイク張り ・図示			・陶磁器タイル接着剤張り																																					
	施工部位	工法	接着力試験																																																		
		・密着張り ・改良圧着張り	・行う ・行わない																																																		
		・改良積上げ張り																																																			
		・マスク張り ・モザイク張り ・図示																																																			
		・陶磁器タイル接着剤張り																																																			
	◎有機系接着剤による陶磁器タイル張り工法 打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地： ※ポリアクリル系シーリング材 ・ 伸縮調整目地・その他の目地： ※変成シリコン系シーリング材 ・ ◎アンカーピンニング工法																																																				
5.9～5.15 アンカーピンニング**工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法名称</th> <th colspan="2">アンカーピン(本/m)</th> <th colspan="2">注入孔数(箇所/m)</th> <th rowspan="2">1箇所当り 充填量(cc)</th> </tr> <tr> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入タイル固定工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法名称	アンカーピン(本/m)		注入孔数(箇所/m)		1箇所当り 充填量(cc)	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分	・アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	16	25	16	25	※25	・アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	13	20	12	20	※25	・アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	13	20	12	20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	9	16	9	16	※50	・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入タイル固定工法					
工法名称	アンカーピン(本/m)		注入孔数(箇所/m)		1箇所当り 充填量(cc)																																																
	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分																																																	
・アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	16	25	16	25	※25																																																
・アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	13	20	12	20	※25																																																
・アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	13	20	12	20	※50																																																
・注入口付アンカーピンニング部分珪砂樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25																																																
・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																
・注入口付アンカーピンニング全面ポリアセトスラリー樹脂注入工法	9	16	9	16	※50																																																
・注入口付アンカーピンニング全面珪砂樹脂注入タイル固定工法																																																					
	指定部分：見上げ部、庇の鼻先、まぐさ隅部																																																				
	◎塗り仕上げ外壁等の改修																																																				
⑥3 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁全て</td> <td>○カッター工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高圧水施工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水洗い工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	外壁全て	○カッター工法			・高圧水施工法			・塗膜はく離剤工法			・水洗い工法																																						
施工部位	工法/種別	備考																																																			
外壁全て	○カッター工法																																																				
	・高圧水施工法																																																				
	・塗膜はく離剤工法																																																				
	・水洗い工法																																																				
7.2 マスチック塗材塗り	サンダー工法の処理範囲： ○既存仕上全面 ・図示 ・ 高圧水施工法の処理範囲： ・既存仕上全面 ・図示 ・ 塗膜はく離剤工法の処理範囲： ・既存仕上全面 ・図示 ・ 水洗い工法の処理範囲： ・既存仕上全面 ・図示 ・ 7. マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修 種別： ・A種 ・B種																																																				
5章 建具改修工事	①3 改修工法	①. 一般事項 工法： ○かぶせ工法 ○撤去工法 ・ 新規建具用開口部の補強方法： ・図示 ・ 新規建具用開口部の範囲： ・図示 ・ 防火戸の指定： ・図示 ・ ・防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。 建具見本の制作： ・必要 ○不要 仮組の実施： ・行う ・行わない 防犯建物部品の適用： ・図示 ○適用 ・適用しない																																																			
	1.4 防火戸																																																				
	1.5 見本の制作等																																																				

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	特記仕様書(3)【建築】		
作成年月日			
縮尺	—	図面番号	2-3/10
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

章	項目	特記事項				
6章 内装改修工事	5.1 一般事項	⑤ 木下地等 ◎見え掛り面の表面仕上げの程度(表6.5.1;機械加工)： ・下表による ・図示				
		適用箇所	種類			
		開口部額縁 ・ 建具枠 ・ 笠木 ・ ・ プラントボックス・カーテンボックス ・ 飾り柱 ・ 格子 ・ カンター天板 ・ 衝立 ・ 棚板 ・ ・ 梯子 ・	・A種 ○B種 ・C種 ・A種 ・B種 ・C種 ・A種 ・B種 ・C種 ・A種 ・B種 ・C種			
		◎見え掛り面の表面仕上げの程度(表6.5.2;手加工)： ・下表による ・図示				
		適用箇所	種類			
		開口部額縁 ・ 建具枠 ・ 笠木 ・ ・ プラントボックス・カーテンボックス ・ 飾り柱 ・ 格子 ・ カンター天板 ・ 衝立 ・ 棚板 ・ ・ 梯子 ・	・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種			
		◎一般事項 木材の含水率： ※A種 ・B種 材料のホルムアルデヒド放散料： ※F☆☆☆☆ ・図示				
		◎製材				
		◇JASによる下地用針葉樹製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示 ・				
		使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ
全般	桧	・1級	SD15	サグー	なし	
	杉	※2級	SD20	サグー	なし	
			D15	プレーナ	なし	
			D20	プレーナ	なし	
◇JASによる造作用針葉樹製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示 ・						
使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考
窓枠	㊤	無節	SD15	サグー	なし	
床仕上げ板	杉	※上小節	SD18	サグー	なし	
カーテンボックス	桧	※小節	D15	プレーナ	なし	
段板		並	D18	プレーナ	なし	
巾木						
◇JASによる広葉樹製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示 ・						
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考
全般	㊤	特等	※D10	サグー	なし	
	㊤	※1等	D13	プレーナ	K1	
		2等			なし	
◇JAS以外の製材： ・下表による(寸法は図示) ・図示 ・						
使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備考
	桧	※A種	15%	図示		
	杉	B種	18%	図示		
	松		20%			
◎造作用集成材 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・						
◇JASによる造作用集成材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・						
使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分	備考	
	仕上		面	品質	等級	
	未仕上		1面	※1等	1等	
	塗装		2面	2等	2等	
			4面			
◇JASによる化粧ばり造作用集成材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・						
使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分	備考	
	仕上		面	品質	等級	
	未仕上		1面	※1等	1等	
	塗装		2面	2等	2等	
			4面			

章	項目	特記事項					
6章 内装改修工事	5.2 木材	◇JASによる化粧ばり構造用集成材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・					
		使用部位	強度等級	樹種	見付材	区分	備考
			E190-F615		面	品質	等級
			E105-F345			2等	2等
			E65-F255		4面		
		◇JAS以外の造作用集成材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・					
		使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分	備考
			仕上		面	品質	等級
			未仕上		1面	※1等	1等
			塗装		2面	2等	2等
			4面				
◇JAS以外の化粧ばり造作用集成材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・							
使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分	備考		
	仕上		面	品質	等級		
	未仕上		1面	※1等	1等		
	塗装		2面	2等	2等		
			4面				
◇JAS以外の化粧ばり構造用集成材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・							
使用部位	強度等級	樹種	見付材	区分	備考		
	E190-F615		面	品質	等級		
	E105-F345			2等	2等		
	E65-F255		4面				
◎造作用単板積層材 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・							
◇JASによる造作用単板積層材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・							
使用部位	含水率	仕上げ	表面の	防腐防蟻処理	備考		
	※14%	仕上	品質	なし	天然木化粧加工		
		仕上	1等				
		未仕上	2等		塗装加工		
		未仕上	3等				
◇JAS以外の造作用単板積層材： 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・							
使用部位	含水率	仕上げ	表面の	防腐防蟻処理	備考		
	※14%	仕上	品質	なし	天然木化粧加工		
		仕上	1等				
		未仕上	2等		塗装加工		
		未仕上	3等				
◎直交集成板							
◇JASによる直交集成板							
使用部位	曲げ強度	種別	接着性能	樹種区分	備考		
	Mx120-3-3	A種構成	使用環境A	S1			
	Mx 60-9-9	B種構成	使用環境B	S2			
	S120-3-3		使用環境C	S3			
	S 30-9-9			S4			
◎床張り用合板等							
◇JASによる普通合板							
使用部位	表板樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等		
	㊤	※5.5	※1類	※2等	・図示		
	㊤	9	2類	1等			
		12		※C-D			
◇JASによる構造用合板							
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	備考		
外壁・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材		
各室床下地捨て張り	㊤	2級	1類	B-C			
				D-D			

章	項目	特記事項					
6章 内装改修工事	5.3 接合具等	◇JASによる化粧バリ構造用合板					
		使用部位	品名	厚さ(mm)	表板樹種名	接着の程度	備考
				9		特類	F☆☆☆☆/防虫処理材
				12		1類	F☆☆☆☆/防虫未処理
		◇JASによる天然木化粧合板					
		使用部位	品名	厚さ(mm)	単板樹種名	接着の程度	備考
				12		1類	F☆☆☆☆/防虫処理材
				15		2類	F☆☆☆☆/防虫未処理
		◇JASによる特殊加工化粧合板					
		使用部位	品名	厚さ(mm)	表面性能タイプ	接着の程度	備考
		12	・F ・FW	1類	オーバレイ/防虫処理材		
		15	・W ・SW	2類	プリント/防虫未処理		
◇パーティクルボード							
使用部位	厚さ(mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備考		
	※15			※13P/M			
◇JASによる構造用パネル							
使用部位	品名	厚さ(mm)	曲げ等級	備考			
		図示	・1級 ・2級	オーバレイ/防虫処理材			
		25	・3級 ・4級	プリント・塗装/防虫未処理			
◇ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)							
使用部位	厚さ(mm)	表面状態区分	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備考	
		・RN ・RS	・30 ・25	U	難燃2		
		・DV ・DO ・DC	・15 ・5	M	難燃3		
				P			
5.4 木れんが							
5.5 防蟻・防蟻							
◎防虫処理							
5.6~5.9***木材、工法							
5.* 堅木							
5.* 銘木							
造作材化粧面の釘打ち工法： ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭隠し 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ ◎薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理							
適用箇所	性能区分	備考					
宿直室床組	・K2 ・K3 ・K4						
	・K2 ・K3 ・K4						
加圧注入用木材のインサージング： ・適用する ・摘要しない 薬剤の塗布による防蟻・防蟻処理の方法： ※標準仕様書による ・ ボード原料接着剤への薬剤混入による防蟻・防蟻処理の方法： ・ ◎防虫処理 木材の防虫処理： ・ 樹種： ※下表を標準とし変更する場合は、事前に監督員の承諾を得る事。							
使用箇所	材種						
・RC造等の内部間仕切	・間仕切軸組	※杉 ・					
軸組及び床組	・床組	※杉又は松 ・					
・窓、出入口、その他	・吊元枠、水掛かり の下枠及び敷居	・桧 ・					
・床板張り	・縁甲板、上がり框	※桧 ・					
・壁及び天井下地		※杉又は松 ・					
樹種： ・㊤ ・㊤ ・㊤ ・㊤ ・㊤ ・							
使用箇所： ・							
種別： ・真物 ・貼物							
樹種： ・							
使用箇所： ・							

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	特記仕様書(5)【建築】		
作成年月日			
縮尺	—	図面番号	2-5/10
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
6章 内装改修工事	15.6 工法	床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地 ・ 16. タイル張り 伸縮調整目地の位置： ※@4m(縦・横共) ・図示 ・ 16.3 セメントモルタルによるタイル張り タイルの種類： ・図示 ・下表による ・	7章 塗装改修工事	③ 塗料種別	③ 錆止め塗料塗り 鉄鋼面： ※A種 ・B種 鉄鋼面(上塗りEP-Gの場合)： ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面： ※A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面(上塗りEP-Gの場合)： ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面見え掛り部分新規塗り工法： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法： ・A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面塗替え部分工法： ・A種 ・B種 ※C種 4. 合成樹脂配合ペイント塗り (SOP) 種別： ※1種 ・2種 4.3~4.5 ***塗料塗り 木部の種別(新規外部)： ※A種 ・B種 木部の種別(新規内部)： ・A種 ※B種 木部の種別(多孔質広葉樹)： ・A種 ・B種 木部の種別(塗替え)： ・A種 ※B種 鉄鋼面の種別： ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面の種別(塗替え)： ※A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面の種別(新規)： ・A種 ※B種 5. クリヤーラッカー塗り (CL) 種別： ・A種 ※B種 7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 種別： ・A種 ※B種 8. 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面の種別： ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面の塗替えの等級： ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 押出成形セメント板面の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 9. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 せっこうボード、及びその他のボード面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしき止め： ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 ・ 屋内木部の種別(新規)： ※A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別(多孔質広葉樹)： ・A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別(塗替え)： ・A種 ※B種 ・C種 屋内鉄鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 ⑩ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) 種別： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしき止め： ・標準仕様書7.13.2(b)による ・図示 ・ 11. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 せっこうボード等面の種別： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 12. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 種別： ・A種 ※B種 13. オイルステイン塗り (OS) 塗料の種別： ・図示 ・	7章 塗装改修工事	14.2 ***塗料塗り	14. 木材保護塗料塗り (WP) 種別： ・A種 ※B種	
	16.1 一般事項	伸縮調整目地の位置： ※@4m(縦・横共) ・図示 ・		3.3 錆止め塗料塗り	4.2 塗料の種別	① 共通事項 ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による コンクリートの種別： ※I類 ・II類 ・その他； 使用骨材による種別： ・普通コンクリート(下表による) ・図示	8章 耐震改修工事	①* コンクリート工事	①* 鉄骨工事 ①* 鉄筋工事 ①3 コンクリートの種類
	16.3 セメントモルタルによるタイル張り	タイルの種類： ・図示 ・下表による ・		4.3~4.5 ***塗料塗り	①* 鉄骨工事	使用骨材による種別： ・普通コンクリート(下表による) ・図示			
16.4 有機系接着剤によるタイル張り	タイルの種類： ・図示 ・下表による ・	5.2 ***塗料塗り	①* 鉄筋工事	使用骨材による種別： ・軽量コンクリート(下表による) ・図示					
16.3 セメントモルタルによるタイル張り	タイルの種類： ・図示 ・下表による ・	7.2 ***塗料塗り	8.2~8.4 ***塗料塗り	①4 コンクリートの品質	①* コンクリートの種類	①3 コンクリートの種類	①4 コンクリートの種類	①5 鉄骨製作工場	
16.4 有機系接着剤によるタイル張り	タイルの種類： ・図示 ・下表による ・	9.2~9.5 ***塗料塗り	9.2~9.5 ***塗料塗り	①5 鉄骨製作工場	①* コンクリートの種類	①3 コンクリートの種類	①4 コンクリートの種類	①5 鉄骨製作工場	
17.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行う ・行わない タイルの試験張り： ・行う ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・ 張付けモルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料 ◎タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行う ・行わない タイルの試験張り： ・行う ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・ 17. セルフレベリング材塗り 品質： ・セメント系 ・せっこう系 ・ 厚さ： ・10mm ・図示	17.2 材料	17.2 材料	①5 鉄骨製作工場	①* 鉄骨製作工場	①3 コンクリートの種類	①4 コンクリートの種類	①5 鉄骨製作工場	
7章 塗装改修工事	①3 材料	① 共通事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ○有(不燃) ② 下地調整	⑩ 2 ***塗料塗り	①5 鉄骨製作工場	①* 鉄骨製作工場	①3 コンクリートの種類	①4 コンクリートの種類	①5 鉄骨製作工場	
7章 塗装改修工事	2.2~2.7 ***下地調整	塗装面の種類 種別 木部(不透明塗料塗り部) ※RA種 ・RB種 ・RC種 木部(透明系塗料塗り部) ・RA種 ※RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 亜鉛メッキ鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル、プaster ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート、ALCパネル ・RA種 ※RB種 ・RC種 押出成形セメント板 ・RA種 ・RB種 ・RC種 せっこうその他のボード 縦目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種	11.2 ***塗料塗り	①5 鉄骨製作工場	①* 鉄骨製作工場	①3 コンクリートの種類	①4 コンクリートの種類	①5 鉄骨製作工場	
7章 塗装改修工事	2.2~2.7 ***下地調整	塗装面の種類 種別 木部(不透明塗料塗り部) ※RA種 ・RB種 ・RC種 木部(透明系塗料塗り部) ・RA種 ※RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 亜鉛メッキ鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル、プaster ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート、ALCパネル ・RA種 ※RB種 ・RC種 押出成形セメント板 ・RA種 ・RB種 ・RC種 せっこうその他のボード 縦目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種	12.2 ***塗料塗り	①5 鉄骨製作工場	①* 鉄骨製作工場	①3 コンクリートの種類	①4 コンクリートの種類	①5 鉄骨製作工場	
7章 塗装改修工事	2.2~2.7 ***下地調整	塗装面の種類 種別 木部(不透明塗料塗り部) ※RA種 ・RB種 ・RC種 木部(透明系塗料塗り部) ・RA種 ※RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 亜鉛メッキ鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル、プaster ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート、ALCパネル ・RA種 ※RB種 ・RC種 押出成形セメント板 ・RA種 ・RB種 ・RC種 せっこうその他のボード 縦目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種	13.2 ***塗料塗り	①5 鉄骨製作工場	①* 鉄骨製作工場	①3 コンクリートの種類	①4 コンクリートの種類	①5 鉄骨製作工場	

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	特記仕様書(7)【建築】		
作成年月日			
縮尺	—	図面番号	2-7/10
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8章 耐震改修工事	②5 コンクリートの材料及び調合	セメントの種類： ※普通ポルトランドセメント ※混合セメントA種 ・高炉セメント ・フライアッシュセメント フェロニッケルスラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 鋼スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・ モルタルの圧縮強度： ・図示 ・18N/mm ² ・ モルタルのフロー値： ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上 ②7 型枠の材料	8章 耐震改修工事	4.2 機械式継手	4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 機械式継手の種類： ・図示 ・ 機械式継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ・施工計画による品質計画 溶接継手の工法： ・図示 ・ 溶接継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ・施工計画による品質計画 不良継手部の修正方法： ・図示 ・施工計画による品質計画
	2.6 構造体用材料の材料及び調合	②7 型枠の材料		⑦8 型枠工事	⑦8 型枠工事
	②7 型枠の材料	種類 種類・厚さ 材質		9.1 一般事項	9.1 一般事項
	②8 鋼材	スリープ： ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管 ・つば付き鋼管 ・鋼管 ・紙チューブ 鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・		10.2 材料及び調合	10.2 材料及び調合
	2.9 高力ボルト	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 種類： ・トリア型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径： ・図示 ・ 表8.2.9以外の溶接材料： ・図示 ・ スタッドの規格、形状、寸法等： ・下表による ・図示 ・		11.1 一般事項	11.1 一般事項
	2.10 溶接材料	②8 鋼材		12.4 穿孔	12.4 穿孔
	2.11 スタッド	施工部位 規格番号 形状、寸法 備考		12.7 施工確認試験	12.7 施工確認試験
	2.12 柱底均しモルタル及びびりょう材	②8 鋼材		13.10 仮組	13.10 仮組
	2.13 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等	②8 鋼材		14.2 摩擦面の性能及び処理	14.2 摩擦面の性能及び処理
	2.14 鋼材の材料試験等	②8 鋼材		14.7 締付け	14.7 締付け
	2.15 基礎工事に用いる材料	②8 鋼材		15.3 ***技能資格者	15.3 ***技能資格者
	③4 継手及び定着	③4 継手及び定着		15.4 溶接の準備	15.4 溶接の準備
	③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔		15.7 溶接施工	15.7 溶接施工
	③7 壁の配筋及び補強	③7 壁の配筋及び補強		15.12 溶接部の試験	15.12 溶接部の試験
	③8 ガス圧接	③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			
		③8 ガス圧接			
		③4 継手及び定着			
		③5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
		③7 壁の配筋及び補強			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																						
8章 耐震改修工事	25.2 施工	25. 耐震スリット新設工事 スリットの幅、及び深さ： ・図示 ・ 耐火充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・ 遮音充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・	8章 耐震改修工事	28.4 地業工事	試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎杭地業は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」4章 [地業工事] による。	9章 環境配慮改修工事	1.1 一般事項	1. 石綿含有建材の除去工事 封じ込め処理： ・適用しない ・適用する【処理方法： ・図示 ・】 囲い込み処理： ・適用しない ・適用する【処理方法： ・図示 ・】 石綿含有建材撤去後の仕上げ： ・図示 ・ 既存石綿含有建材の調査報告書： ・有り【賃与： ・行う ・行わない】 ・無し 分析による石綿含有の調査： ・行う ・行わない 分析による石綿含有の調査方法： ・JIS A 1481-2 ・JIS A 1481-3 石綿粉じん濃度測定： ・行う ・行わない 石綿粉じん濃度測定箇所： 石綿粉じん測定方法： ・空気中の繊維状粒子測定方法(JIS K 3850-1) ・																						
	26.7 支承材及び減衰材	26. 免震改修工事 支承材の材質等： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・		●公4章 地業工事 公3.1 一般事項 公3.2 材料 公3.4 セメント助工法	●公3. 既製コンクリート杭地業 工法の適用： ・セメント助工法(4.3.4) ・特定埋設杭工法(4.3.5) 材料の強度等による区分： ・ 杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状： ・図示 ・ 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ アースオーガーの支持地盤への掘削深さ： ・図示 ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 ・ 根固め液の管理試験： ※表4.3.1による ・ 杭固定液の管理試験： ※表4.3.1による ・ 施工法の種類： ・図示 ・ 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 ・ 杭の継手の工法： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		1.3 石綿含有吹付け材の除去 除去工法： ※標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・図示 ・ 石綿含有吹付け材の梱包： ※湿潤化 ・固形化 ・図示 ・																							
	26.10 支承材又は減衰材の設置	材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 割裂補強筋の適用： ・図示 ・		公3.5 特定埋設杭工法	4. 鋼杭地業 材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示 杭の継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接 ・		2.3 改修工法の種類及び工程	2. 断熱アスファルト防水改修工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・P1B1/・B1-1 ・B1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・P2A1/・A1-1 ・A1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P0D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1B1/・B1-1 ・B1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M3D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4D1/・D1-1 ・D1-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	・PHR階屋上	・P1B1/・B1-1 ・B1-2	断熱材：t=	・R階屋上	・P2A1/・A1-1 ・A1-2	断熱材：t=		・P0D1/・D1-1 ・D1-2	断熱材：t=		・T1B1/・B1-1 ・B1-2	断熱材：t=		・M3D1/・D1-1 ・D1-2	断熱材：t=		・M4D1/・D1-1 ・D1-2	断熱材：t=
	施工部位	工法/種別		備考																										
	・PHR階屋上	・P1B1/・B1-1 ・B1-2		断熱材：t=																										
	・R階屋上	・P2A1/・A1-1 ・A1-2		断熱材：t=																										
		・P0D1/・D1-1 ・D1-2		断熱材：t=																										
		・T1B1/・B1-1 ・B1-2		断熱材：t=																										
		・M3D1/・D1-1 ・D1-2		断熱材：t=																										
		・M4D1/・D1-1 ・D1-2		断熱材：t=																										
	26.13 仕上げ	支承材又は減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・		公4.3 材料	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		3.2 材料	3. 外断熱改修工事 断熱材の種類及び厚さ： ・図示 ・ 外装材の種類及び防火性能： ・図示 ・																						
	26.14 耐火被覆	支承材への耐火被覆の適用及び仕様： ・図示 ・		公4.5 継手	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		3.3 既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去： ・図示 ・全面撤去 ・部分撤去 ・ 既存外壁下地面の清掃： ・図示 ・ 既存外壁下地欠損部の改修方法： ・図示 ・ 風圧力に対応した工法： ・製造所仕様による ・図示 ・ 下地調整： ・製造所仕様による ・図示 ・ 断熱材の施工方法： ・製造所仕様による ・図示 ・ 外装材の施工： ・製造所仕様による ・図示 ・ 外装材の取付： ・あと施工アーカー ・接着剤 ・図示 ・ 通気層： ・有り(厚み： mm) ・無し																						
	26.15 免震部パシジョンジョイント等	免震部に設置するエキスパンションジョイントの仕様及び工法： ・図示 ・製造所推奨仕様による ・		公5.1 一般事項	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		3.4 工法	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ： ・図示 ・ 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽区分： ※U3-1 ・U3-2																						
	26.16 検査	検査の項目及び数量： ※検査項目は協議の上決定し、数量は全数とする ・図示		公5.4 材料その他	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		5.2 断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事																						
	27.2 既存部分の撤去等	27. 制振改修工事 既存鉄骨の撤去範囲及び方法： ・図示 ・ 既存鉄骨の処置： ・図示 ・		公5.5 7-7溶接工法、リバーシブル工法、オルソング工法	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		5.3 現場吹付け発砲断熱材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ホリスチレンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・押出法ホリスチレンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下端</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種 ・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	種 別	厚さ(mm)	・ビーズ法ホリスチレンフォーム	・	・25 ・	・押出法ホリスチレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種 ・	・	・フェノールフォーム	・	・							
	種 類	種 別		厚さ(mm)																										
	・ビーズ法ホリスチレンフォーム	・		・25 ・																										
	・押出法ホリスチレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端		・25 ・50																										
	・硬質ウレタンフォーム	・A種 ・		・																										
	・フェノールフォーム	・		・																										
	27.4 減衰材	減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・		公5.6 場所打鋼管コンクリート杭工法及び掘削杭工法	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		5.4 断熱材後張り工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ホリスチレンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・押出法ホリスチレンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下端</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種 ・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	種 別	厚さ(mm)	・ビーズ法ホリスチレンフォーム	・	・25 ・	・押出法ホリスチレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種 ・	・	・フェノールフォーム	・	・							
	種 類	種 別		厚さ(mm)																										
	・ビーズ法ホリスチレンフォーム	・		・25 ・																										
	・押出法ホリスチレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端		・25 ・50																										
・硬質ウレタンフォーム	・A種 ・	・																												
・フェノールフォーム	・	・																												
27.6 減衰材の設置	材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 別置の材料の種類、形状、寸法、数量等： ・図示 ・製造所仕様による 割裂補強筋の適用： ・図示 ・	公6.2 材料	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		接着剤のホリスチレン放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・																									
27.8 仕上げ	減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・	公6.3 砂利及び砂地業	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		材料： ・吹付け硬質ウレタンフォーム ・ 種類： ・A種1 ・ 難燃材： ・1級 ・2級 ・3級 吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25 ・30 ・20																									
27.9 検査	検査の項目： ・図示 ・	公6.4 捨てコンクリート地業	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ホリスチレンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・押出法ホリスチレンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下端</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種 ・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	種 別	厚さ(mm)	・ビーズ法ホリスチレンフォーム	・	・25 ・	・押出法ホリスチレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種 ・	・	・フェノールフォーム	・	・										
種 類	種 別	厚さ(mm)																												
・ビーズ法ホリスチレンフォーム	・	・25 ・																												
・押出法ホリスチレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50																												
・硬質ウレタンフォーム	・A種 ・	・																												
・フェノールフォーム	・	・																												
28.2 既存杭の撤去等	28. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・	公6.5 床下防湿層	5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・		接着剤のホリスチレン放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・																									
28.3 土工事	◎埋戻し及び盛土 種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・搬入まさ土（砂礫等の混入のない良質なものとし、水締め、機器による締固めとする） ◎建設発生土の処理 ・現場説明書による ・構外搬出適切処理 ※構内指定場所堆積 ・構内指定場所敷均し ・他現場に搬入（ ） ・ ・指定処分地（ ） ・ ◎山留めの撤去 ・撤去 ・存置 ・		5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・																											
28.4 地業工事	◎試験杭 試験杭の位置、本数、寸法： ・図示 ・ ◎載荷試験 載荷試験： ・水平試験 ・鉛直試験 ・ 試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎地盤の載荷試験 載荷試験： ・平板載荷試験 ・ 試験の位置、載荷荷重： ・図示 ・		5. 場所打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理法： ・図示 ・																											

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	特記仕様書(9)【建築】		
作成年月日			
縮 尺	—	図面番号	2-9/10
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

章	項目	特記事項	部 位	メーカー・品名・品種・品番	備 考	項目	業者名・連絡先	備 考			
9章 環境配慮改修工事	6.2 材 料	6. 屋上緑化改修工事	指定メーカー等リスト			指定工事業者等リスト					
		芝の種類： ・コウライバ ・シバ ・									
		地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数： ・図示 ・									
		縁材、舗装材、水抜き管、マルチング材等： ・図示 ・									
	6.3 工 法	建設省告示第1458号に対応した工法： ・									
		灌水装置の設置/種類： ・設置しない ・設置する【種類： ・図示 ・ 】									
	6.4 ***の枯補償	既存保護層等の撤去： ・撤去しない ・撤去する									
		新植芝、地被類の枯保証期間： ・1年 ・半年 ・									
	7.2 既存舗装の撤去 及び再利用	7. 透水性アスファルト舗装改修工事									
		既存舗装の撤去： ・撤去しない ・撤去する【範囲等： ・図示 ・改修部分全面】									
	7.3 路 床	既存舗装の再利用： ・再利用しない									
		・再利用する【範囲等： ・図示 ・改修部分全面】									
		凍上抑制層の適用： ・適用しない ・適用する									
		厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm									
		透水性舗装のフィルター層の適用： ・適用しない ・適用する									
		厚さ： 車道部【・150mm ・ mm】 歩道部【・50mm ・ mm】									
		路床安定処理の適用： ・適用しない ・適用する									
		路床安定処理の方法： ・添加材料による処理 ・図示 ・									
		処理内容：【厚さ： ・300mm ・ 】									
		【目標CBR： ・5以上 ・ 】									
7.4 路 盤	盛土の種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種										
	フィルター層の材料： ・砂 ・図示 ・										
	砂の品質： ・75μmふるい通過量10%以下 ・										
	路床安定処理用添加材料： ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種										
	・フライッシュセメント ・生石灰【・特号 ・1号】										
	・消石灰【・特号 ・1号】										
	路床土のCBR試験： ・行わない ・行う【・乱した土 ・乱さない土】										
	路床締固め試験： ・行う ・行わない										
	車道部の路盤の厚さ： ・図示 ・150mm ・										
	歩道部の路盤の厚さ： ・図示 ・100mm ・										
7.5 舗装の構成 及び仕上り	路盤の材料： ※砕石【※クラッシュラン ・粒度調整砕石】										
	※再生材【※クラッシュラン ※クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整砕石】										
	舗装の厚さ(mm)：車道部【・50mm ・ mm】 歩道部【・30mm ・ mm】										
	舗装の平坦性： ※著しい不陸のない程度 ・水の滞留がない平滑性										
7.9 試 験	アスファルトの種類(車道部)： ・図示 ※ホリマー改質アスファルトI型										
	・ホリマー改質アスファルトII型 ・										
	アスファルトの種類(歩道部)： ・図示 ※ストリートアスファルト										
	アスファルトの抽出試験： ・行う ・行わない										

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	特記仕様書(10)【建築】		
作成年月日			
縮 尺	—	図面番号	2-10/10
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

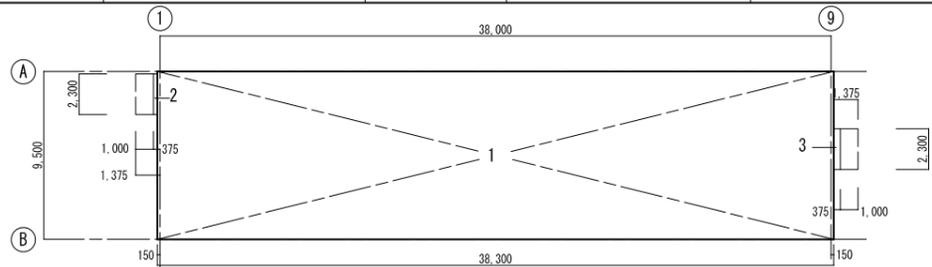
■外部仕上表

部位	撤去項目	改修項目
屋根	アスファルト露出防水・笠木撤去	モルタル塗り t=30 の上 塗膜防水(X1) 通気緩衝工法 脱気塔設置(1ヶ所/4.5m ²) アルミ製笠木・水切新設 (庇)モルタル塗りの上 ウレタン系塗膜防水
外壁	外壁塗装ケレン(撤去) 縦樋撤去 タラップ撤去(2ヶ所)	下地調整の上複層塗材 RE 縦樋 硬質塩ビ 100φカラー新設 ステンレス製タラップ新設(2ヶ所)
開口部	建具(スチールサッシ・スチールドア・シャッター・ガラー)撤去(耐震壁新設部は全撤去・その他は枠のみ残し撤去)	アルミサッシ・アルミガラー・スチールドア・スチールシャッター新設

■内部仕上表

室名	床		巾木	腰壁		壁		天井		備考
	撤去	改修		撤去	改修	撤去	改修	撤去	改修	
玄関	既存のまま	踏込:ビニル床シート張り 0Aフロア H=100 ビニル床タイル 1FL±0(踏込) 1FL+100	ビニル巾木 H=60	既存のまま 開口部廻り一部撤去	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (間仕切壁) 開口部廻りモルタル補修 ビニルクロス	既存のまま 開口部廻り一部撤去	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (間仕切壁) 開口部廻りモルタル補修 ビニルクロス	既存のまま	LGS下地 GB-D t=9.5	上り框:集成材 60X100 OSCL
事務室	既存のまま	0Aフロア H=100 ビニル床タイル 1FL+100	木巾木 H=60 OSCL	既存のまま 開口部廻り一部撤去	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) 杉 t=12 縦羽目張り OSCL (間仕切壁) 開口部廻りモルタル補修 杉 t=12 縦羽目張り OSCL	既存のまま 開口部廻り一部撤去	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (間仕切壁) 開口部廻りモルタル補修 ビニルクロス	木下地 及び GB-D t=9.5	LGS下地 GB-D t=9.5 CH=3,000	断熱材:外壁廻り 現場発泡ウレタンフォーム t=20 吹付 天井裏 グラスウール t=100 敷き込み
操作室	既存のまま	0Aフロア H=100 ビニル床タイル 1FL+100	木巾木 H=60 OSCL	既存のまま 開口部廻り一部撤去	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) 杉 t=12 縦羽目張り OSCL (間仕切壁) 開口部廻りモルタル補修 杉 t=12 縦羽目張り OSCL	既存のまま 開口部廻り一部撤去	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (間仕切壁) 開口部廻りモルタル補修 ビニルクロス	木下地 及び GB-D t=9.5	LGS下地 GB-D t=9.5 CH=3,000	断熱材:外壁廻り 現場発泡ウレタンフォーム t=20 吹付 天井裏 グラスウール t=100 敷き込み
宿直室	畳撤去 木床組一部撤去	畳新設 木床組一部新設	木巾木 H=45 OSCL	既存のまま	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) 杉 t=12 縦羽目張り OSCL (間仕切壁) 杉 t=12 縦羽目張り OSCL	既存のまま	(外壁廻り) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (間仕切壁) ビニルクロス	木下地 及び 竿縁天井撤去	LGS下地 GB-D t=9.5 (木目) CH=2,650	断熱材:外壁廻り 現場発泡ウレタンフォーム t=20 吹付 天井裏 グラスウール t=100 敷き込み 押入・天袋内部は既存のまま
ホール	タイル撤去	薄塗りモルタルの上 ビニル床シート	ビニル巾木 H=60	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部) 開口部廻り一部撤去	GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部) 開口部廻り一部撤去	GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	木下地 及び GB-D t=9.5	LGS下地 GB-D t=9.5 CH=3,100	流し台:L=1,800 IHヒーター付
便所	タイル撤去	薄塗りモルタルの上 ビニル床シート 便器撤去後開口塞ぎ(コンクリート)	ビニル巾木 H=60	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部)	(既存壁部) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (新設壁部) LGS65下地 GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部)	(既存壁部) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (新設壁部) LGS65下地 GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	木下地 及び GB-D t=9.5	LGS下地 GB-D t=9.5 CH=2,500	ライニング天板:メラミンポストフォーム 大便器(設備工事) 紙巻器 タオル掛け
脱衣	タイル撤去	モルタル嵩上げの上 ビニル床シート (踏込み)薄塗りモルタルの上 ビニル床シート	ビニル巾木 H=60	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部)	(既存壁部) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (新設壁部) LGS65下地 GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部)	(既存壁部) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (新設壁部) LGS65下地 GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	木下地 及び GB-D t=9.5	LGS下地 GB-D t=9.5 CH=2,500 2,400	上り框:集成材 60X100 OSCL
洗面	タイル撤去	薄塗りモルタルの上 ビニル床シート	ビニル巾木 H=60	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部)	(既存壁部) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (新設壁部) LGS65下地 GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	既存のまま 一部タイル撤去(GLボンド部)	(既存壁部) GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス (新設壁部) LGS65下地 GB-R t=12.5(GL) ビニルクロス	木下地 及び GB-D t=9.5	LGS下地 GB-D t=9.5 CH=2,500	洗面化粧台 W=750 タオル掛け
ポンプ室 電気室	既存のまま	既存のまま 耐震壁新設部一部補修	EP(塗り分) H=150	既存のまま	下地調整の上 EP塗装(全面)	既存のまま	下地調整の上 EP塗装(全面)	既存のまま	下地調整の上 EP塗装(全面) 新設鉄骨梁 SOP塗装	ポンプ室手摺壁:EP塗装

■求積図・面積表 S=1:200



1 38.30 X 9.50 = 363.8500
 2 0.375 X 2.30 = 0.8625
 3 0.375 X 2.30 = 0.8625

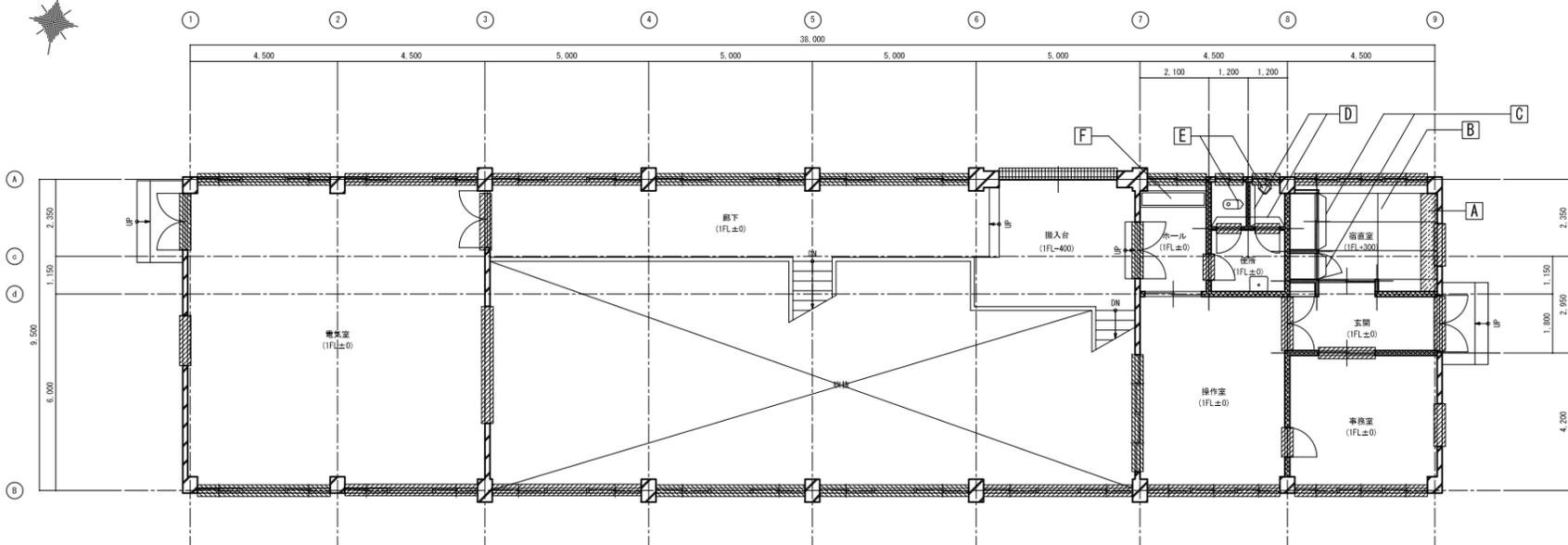
○建築面積(m²)

1 + 2 + 3 = 365.5750 365.57

○床面積(m²)

1 = 363.8500 363.85

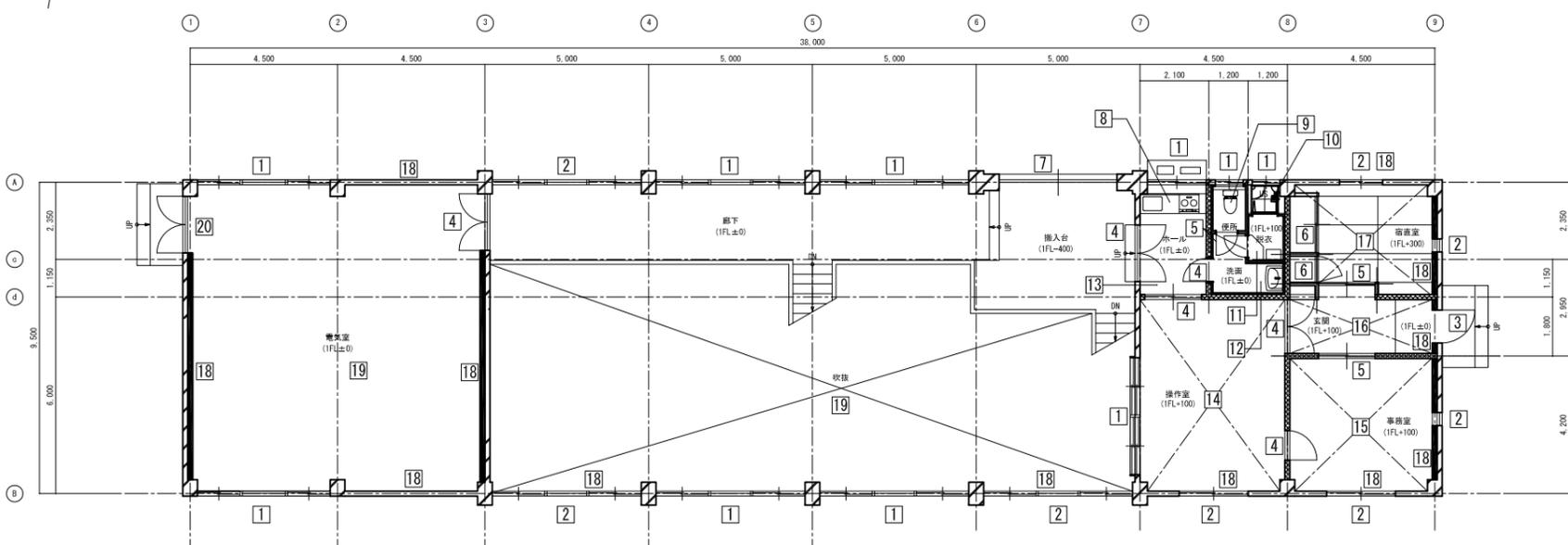
工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	仕上表・求積図・面積表		
作成年月日			
縮尺	—	図面番号	3-1/1
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		



改修前平面図(撤去図)

■撤去項目

凡例	項目
	窓(扉)撤去を示す。(枠共)
	窓(扉)撤去を示す。(枠は残置)
	シャッター撤去を示す。(枠共) 外側・内側共
A	木床組一部撤去
B	畳撤去
C	建具撤去
D	壁撤去
E	便器撤去
F	流し撤去



改修後平面図

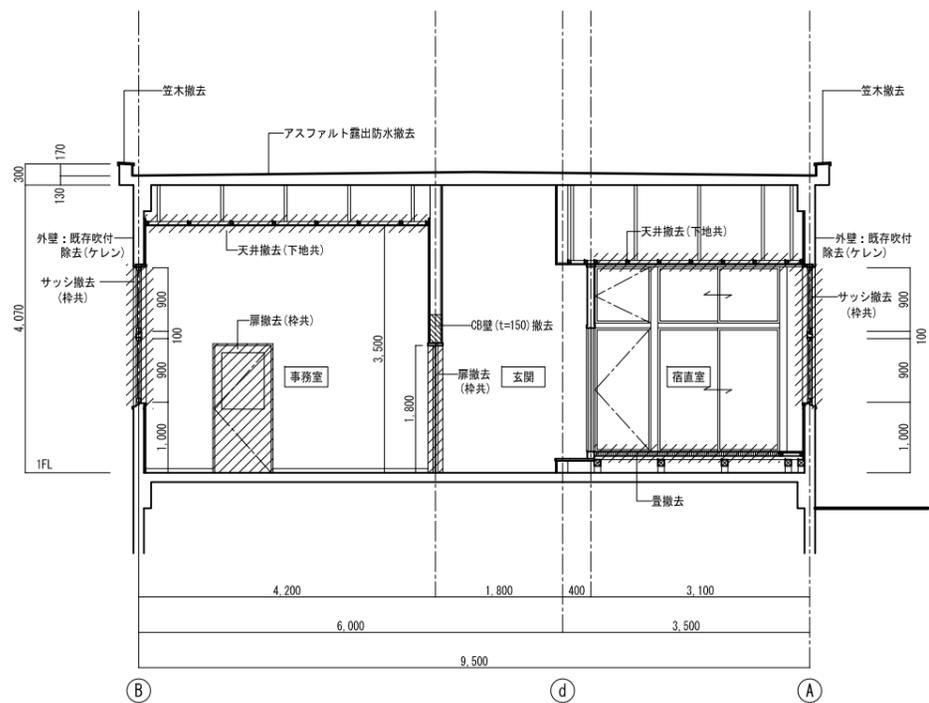
■改修項目

凡例	項目
1	アルミ製窓新設(カバー工法)
2	アルミ製窓新設
3	アルミ製扉新設
4	スチール製扉新設(枠共)
5	木製扉新設
6	建具(戸ふすま)新設
7	シャッター新設(内側のみ)
8	流し台新設 L=1,800
9	便所新設 間仕切り壁新設・大便器新設 床: ビニル床シート 壁: GB-R t=12.5 ビニルクロス張り 天井: GB-D新設
10	ユニットシャワー新設
11	脱衣室新設 床: ビニル床シート 壁: GB-R t=12.5 ビニルクロス張り 天井: GB-D新設 上り框: 集成材
12	洗面所新設 床: ビニル床シート 壁: GB-R t=12.5 ビニルクロス張り 天井: GB-D新設 洗面化粧台 W=750
13	ホール 床: ビニル床シート 壁: GB-R t=12.5 ビニルクロス張り 天井: GB-D新設
14	作業室 床: OAフロア H=100 壁: (外壁側) GB-R t=12.5 (GL) ビニルクロス張り (その他) ビニルクロス張り 腰壁: 杉 t=12壁羽目張り 天井: GB-D新設 OSCL

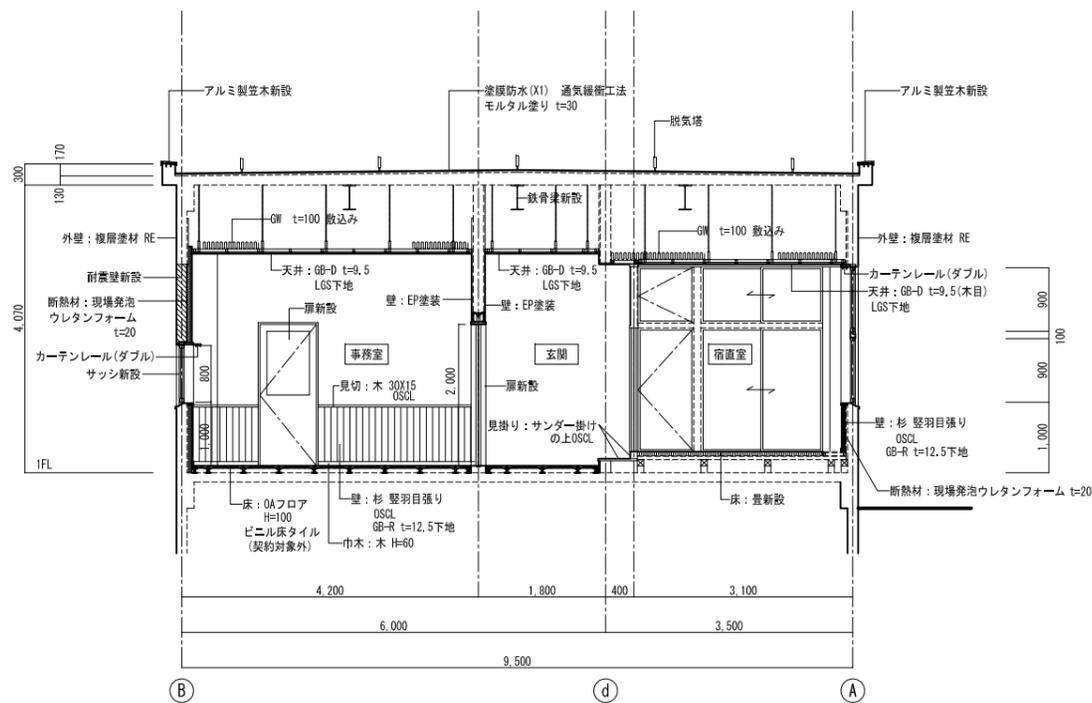
■改修項目

凡例	項目
15	事務室 床: OAフロア H=100 壁: (外壁側) GB-R t=12.5 (GL) ビニルクロス張り (その他) ビニルクロス張り 腰壁: 杉 t=12壁羽目張り 天井: GB-D新設 OSCL
16	玄関 床: OAフロア H=100 踏み込み: 既存のまま 一部補修 壁: (外壁側) GB-R t=12.5 (GL) ビニルクロス張り (その他) ビニルクロス張り 腰壁: 杉 t=12壁羽目張り 天井: GB-D新設
17	宿直室 床: 畳新設 壁: (外壁側) GB-R t=12.5 (GL) ビニルクロス張り (その他) ビニルクロス張り 腰壁: 杉 t=12壁羽目張り 天井: GB-D(木目)新設 OSCL
18	耐震壁新設
19	壁: EP塗装(全面)
20	扉: アルミ製扉(カバー工法)

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	平面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-1/1
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

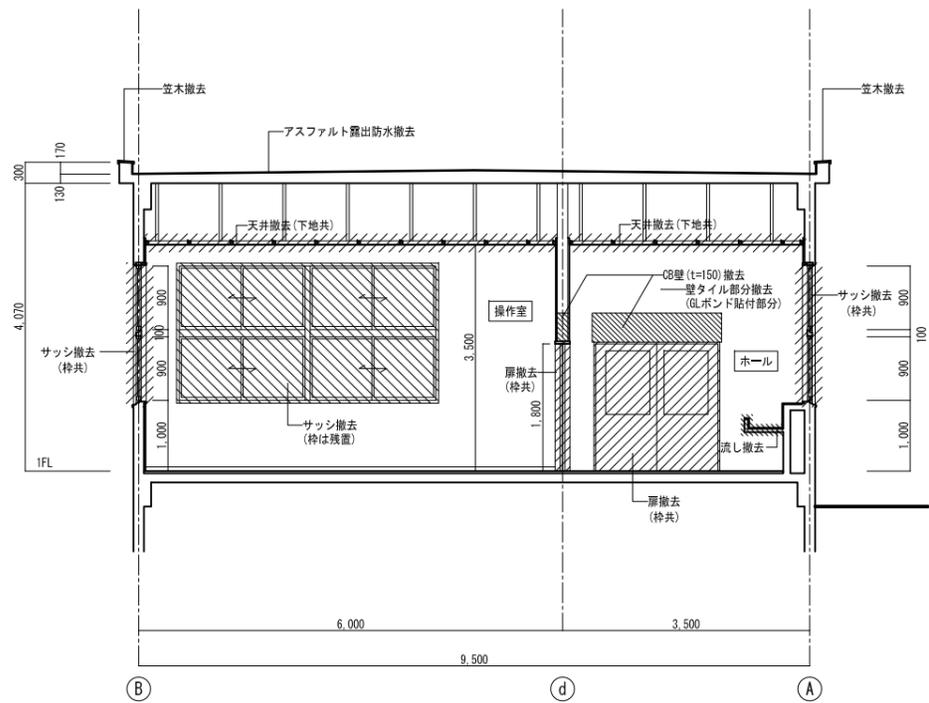


改修前断面図(撤去図)

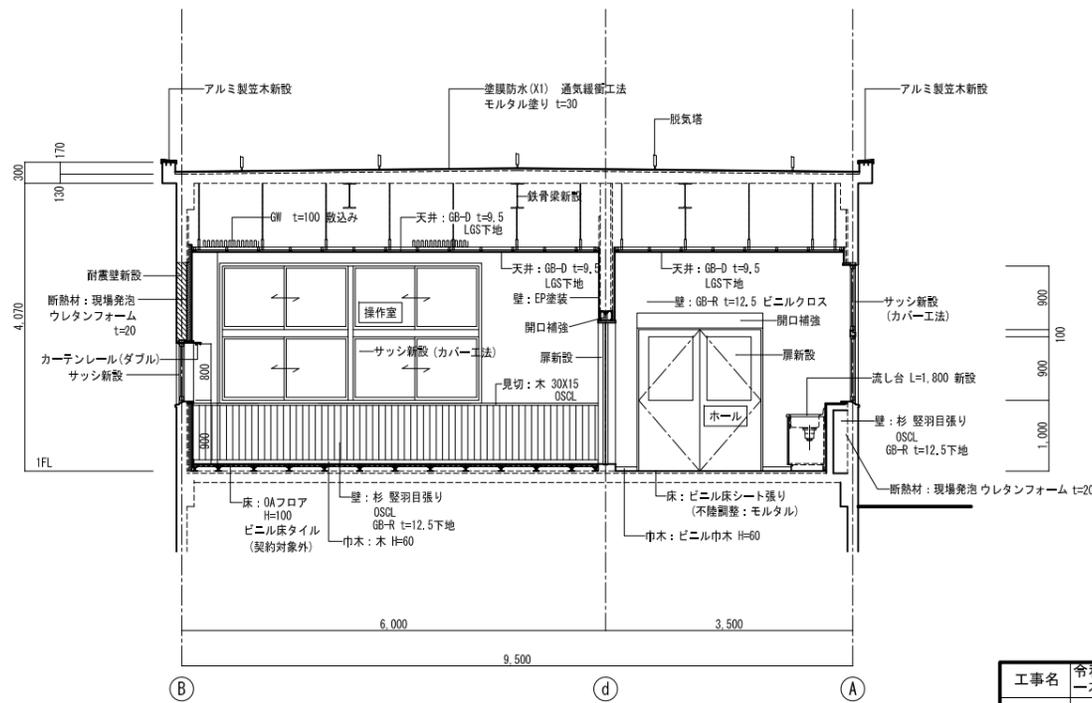


改修後断面図

凡例
点線表記は既存のまま部分を示す。



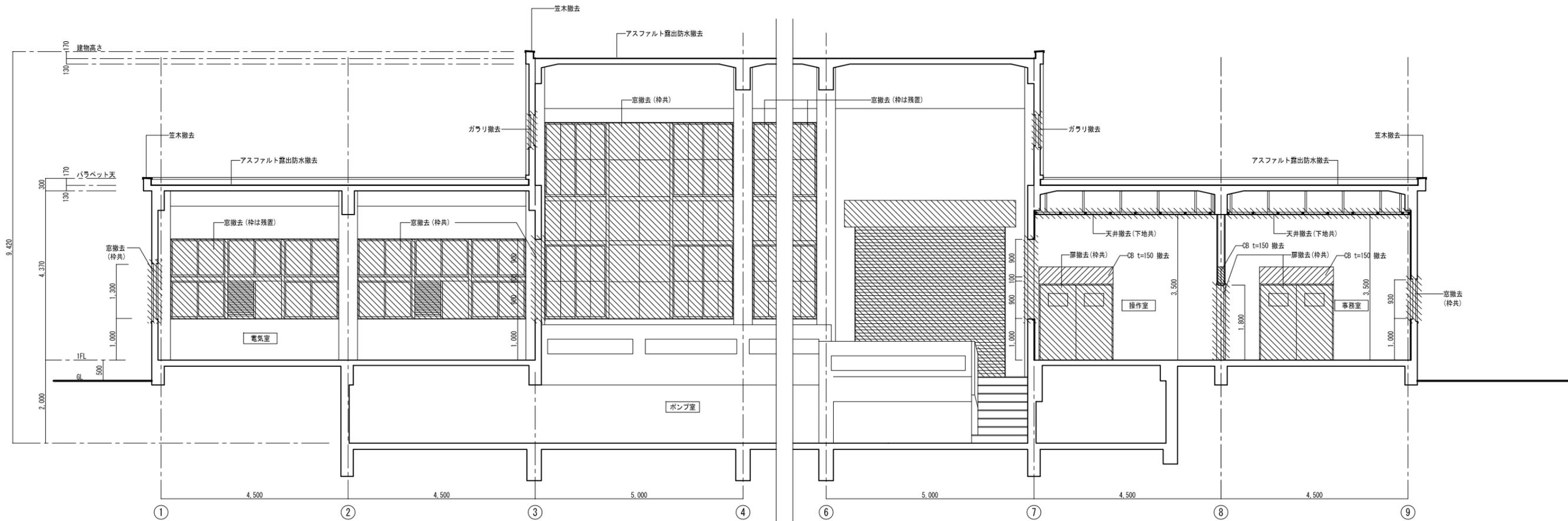
改修前断面図(撤去図)



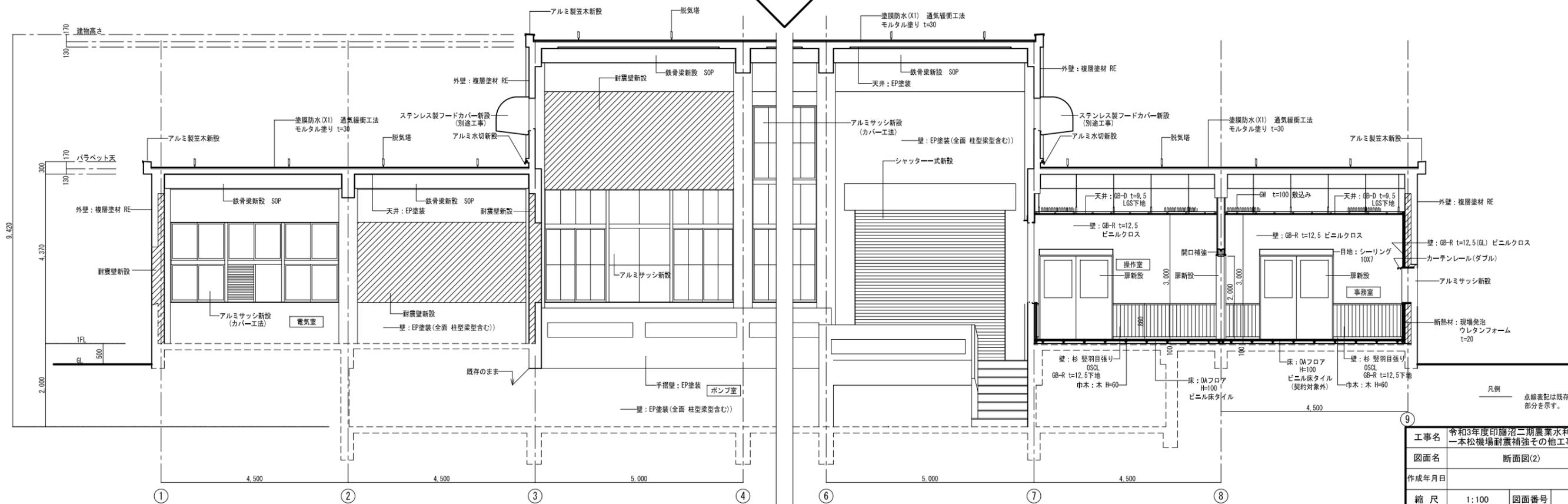
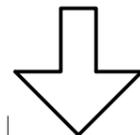
改修後断面図

凡例
点線表記は既存のまま部分を示す。

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	断面図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8-1/2
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

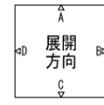
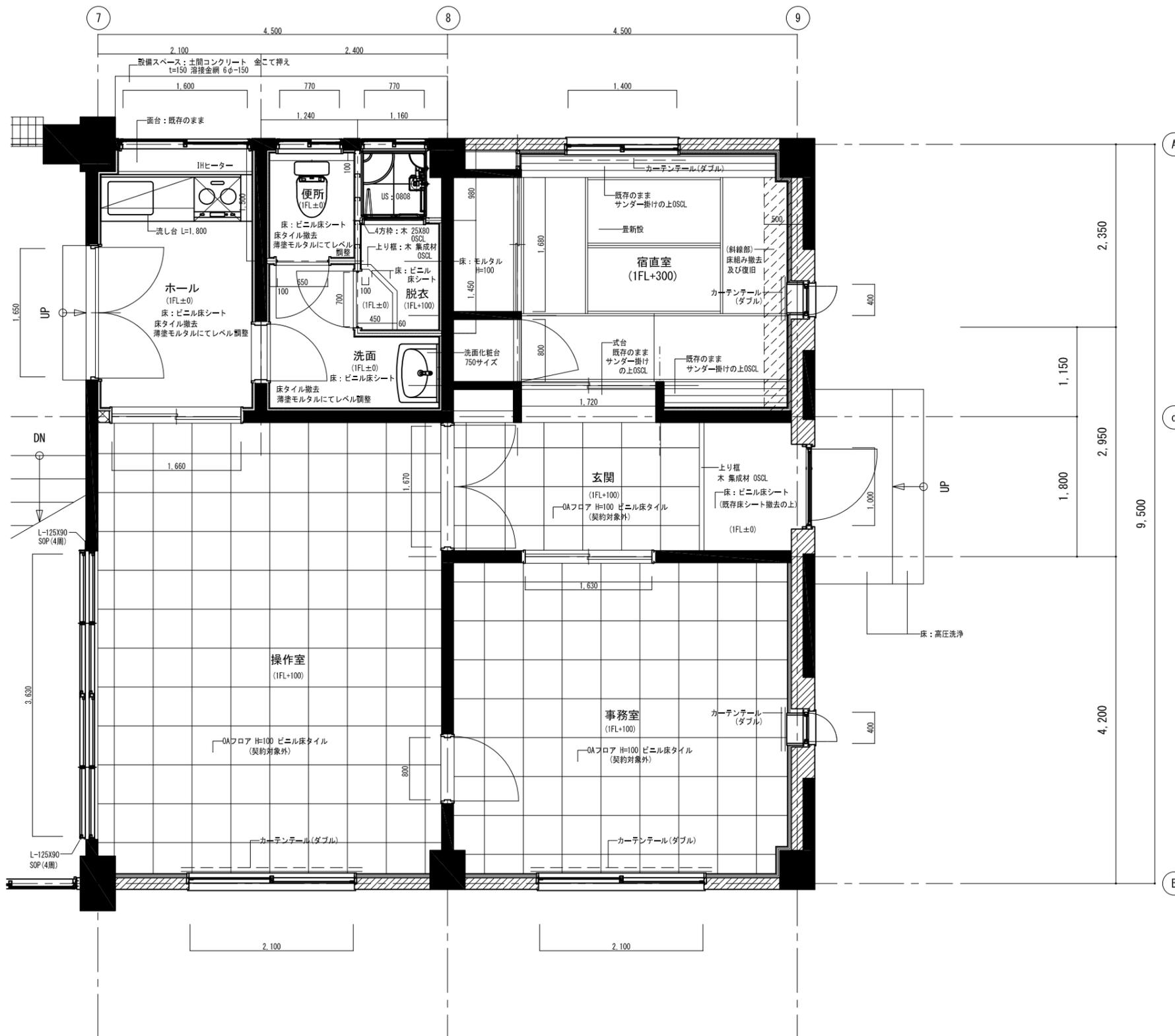


改修前断面図(撤去図)



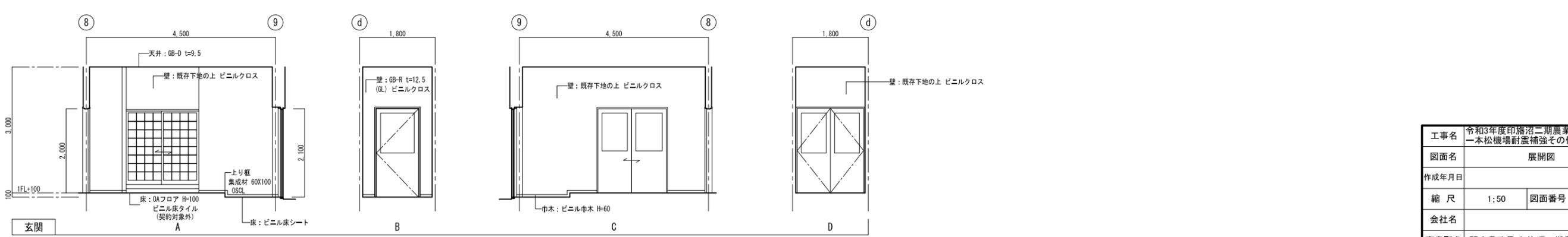
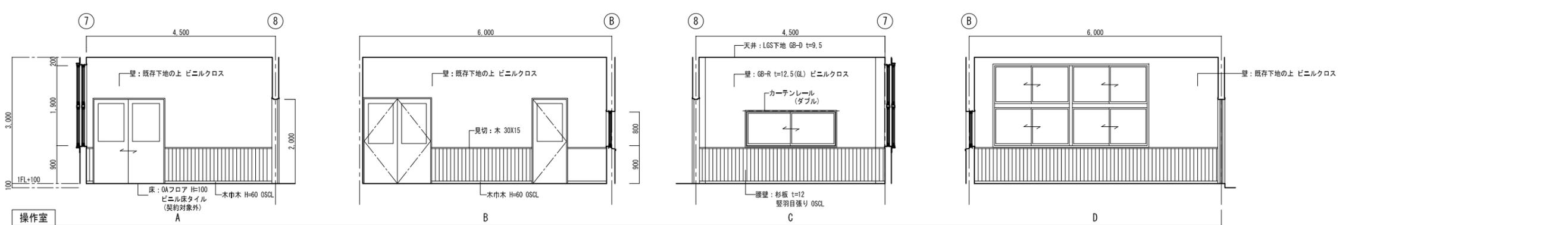
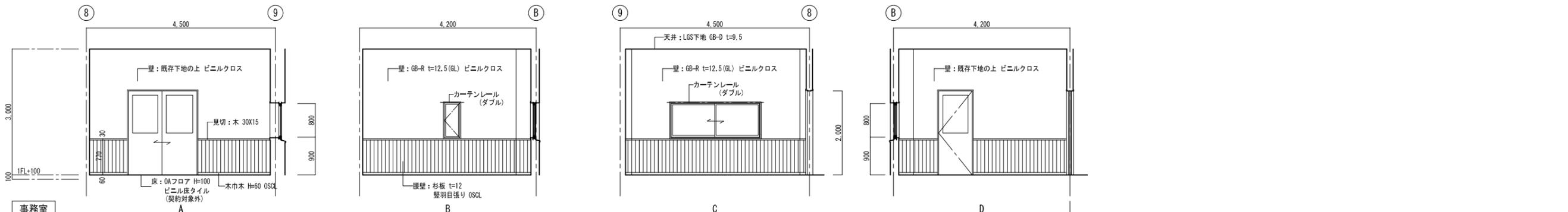
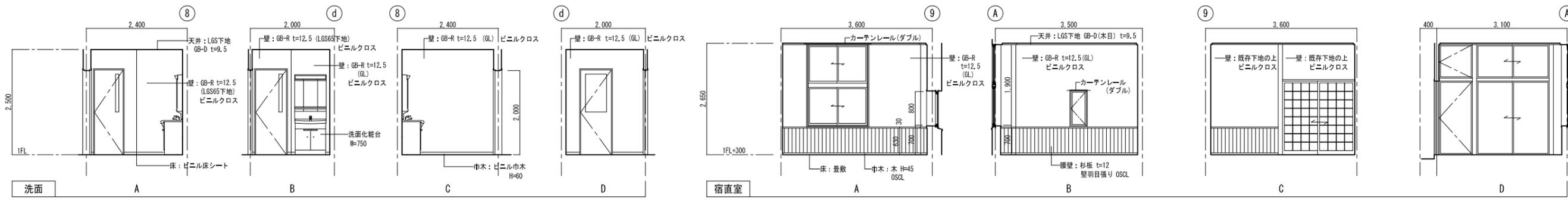
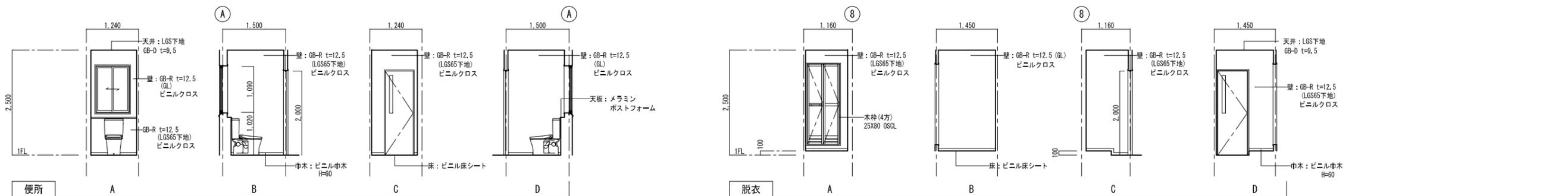
改修後断面図

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	断面図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8-2/2
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

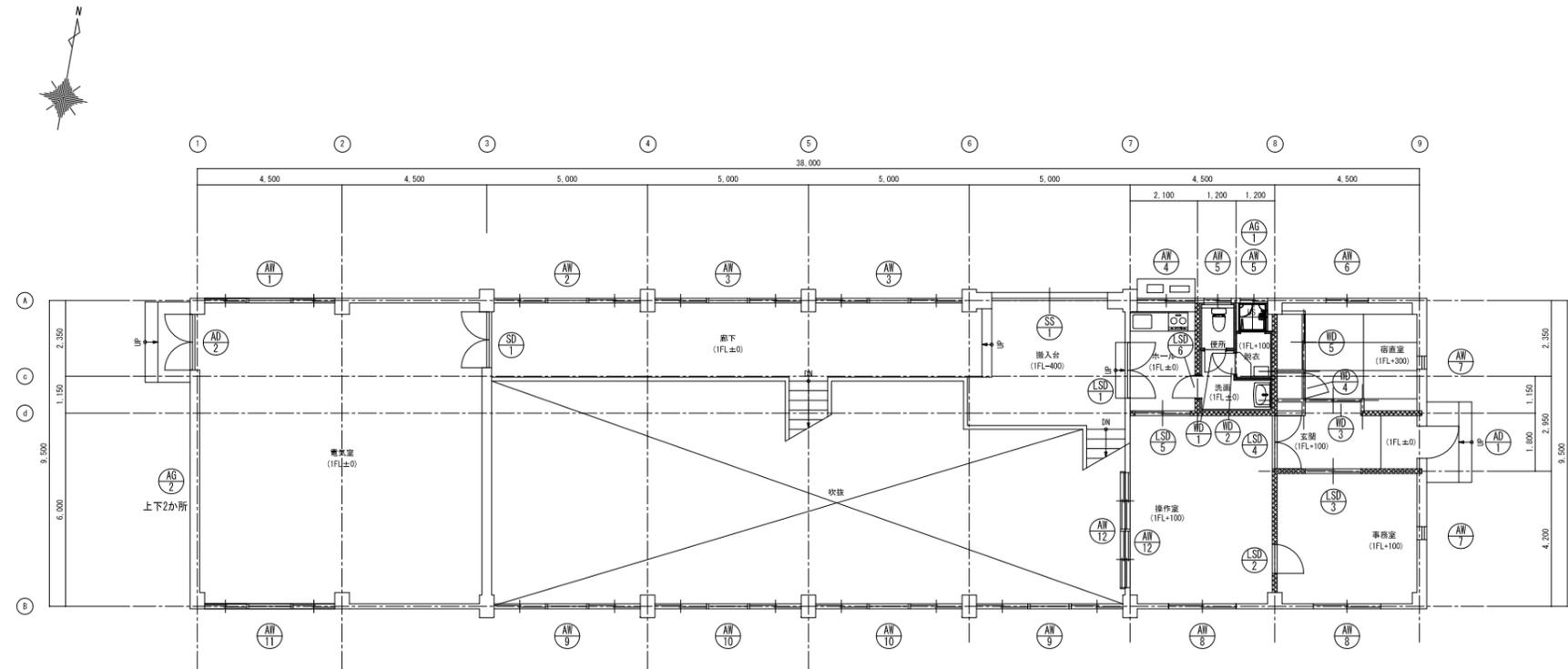


凡例
 ■ 既存部分を示す。
 ▨ 壁増打ちを示す。(耐震壁)

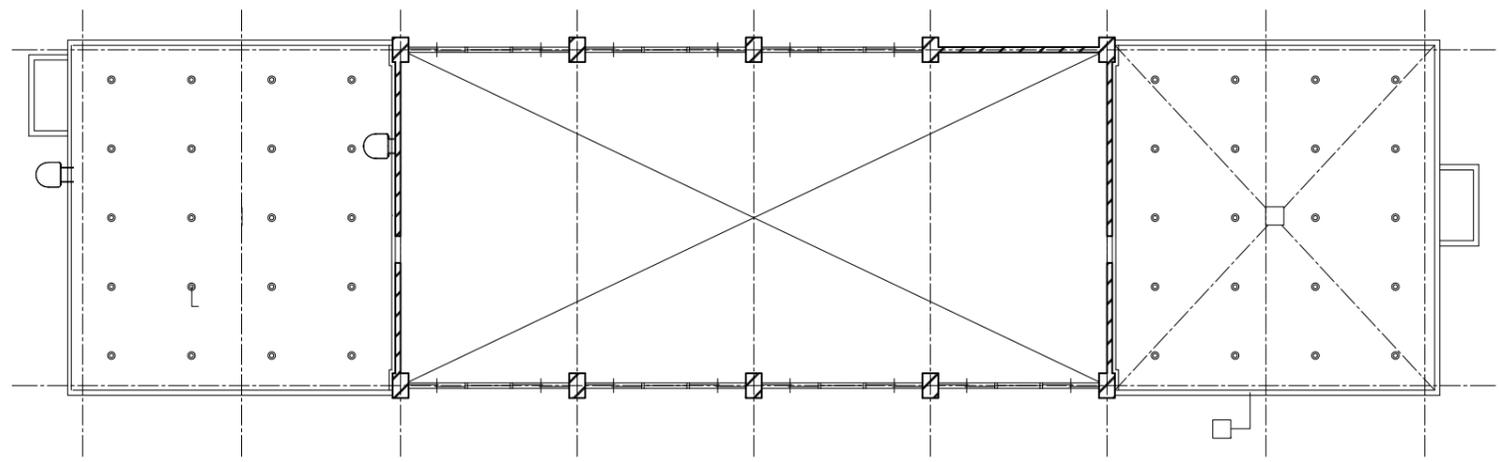
工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	平面詳細図		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	9-1/1
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		



工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	展開図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	10-1/1
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		



1階平面図



1階上部平面図

建具案内図

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	建具案内図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	11-1/1
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

符号 名称 個数	AW1 アルミ製引き違い窓+FIX+ガラリ(3連2段窓) 1		AW2 アルミ製引き違い窓+FIX(3連2段窓) 1		AW3 アルミ製引き違い窓+FIX(3連3段窓) 2		AW4 アルミ製引き違い窓(2連2段窓) 1	
姿図								
場所	電気室		ポンプ室		ポンプ室		ホール	
仕上(枠共)	アルミ B-2		アルミ B-2		アルミ B-2		アルミ B-2	
建具	見込 ガラス 網入り透明 t=6.8 ガラリ アルミ B-2 開口率30%		見込 ガラス 網入り透明 t=6.8		見込 ガラス 網入り透明 t=6.8 ガラリ アルミ B-2 開口率30%		見込 ガラス 網入り透明 t=6.8	
建具枠見込 沓摺	100		100		100		100	
建具金物	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント	
備考	アルミ額縁 25X100(4方) 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法		アルミ額縁 25X100(4方) 網戸 付属金物一式		アルミ額縁 25X100(4方) 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法		アルミ額縁 25X100(4方) 網戸 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法	
符号 名称 個数	AW5 アルミ製引き違い窓 2		AW6 アルミ製引き違い窓(2段窓) 1				AW7 アルミ製片開き窓 2	
姿図								
場所	便所・US		宿直室		ポンプ室		宿直室・事務室	
仕上(枠共)	アルミ B-2		アルミ B-2		アルミ B-2		アルミ B-2	
建具	見込 ガラス 網入り型 t=6.8 ※USのみアルミPL t=3 ガラリ		見込 ガラス 網入り透明 t=6.8		見込 ガラス 網入り透明 t=6.8 ガラリ アルミ B-2 開口率30%		見込 ガラス 網入り透明 t=6.8	
建具枠見込 沓摺	70		100		100		70	
建具金物	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント	
備考	アルミ額縁 25X100(4方) 網戸 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法		木製額縁 25X100(4方) 網戸 付属金物一式		アルミ額縁 25X100(4方) 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法		アルミ額縁 25X100(4方) 網戸 付属金物一式	
符号 名称 個数	AW8 アルミ製引き違い窓 2		AD1 アルミ製片開き扉 1		AD2 アルミ製両開き扉 1			
姿図								
場所	事務室・操作室		玄関		電気室			
仕上(枠共)	アルミ B-2		アルミ B-2		アルミ B-2			
建具	見込 ガラス 網入り透明 t=6.8 ガラリ		見込 ガラス 網入り型 t=6.8		見込 ガラス 網入り透明 t=6.8			
建具枠見込 沓摺	70		70		70			
建具金物	クレセント		SUS丁番 DC レバーハンドル 本締錠		SUS丁番 DC レバーハンドル 本締錠			
備考	アルミ額縁 25X100(4方) 網戸 付属金物一式		アルミ額縁(3方) 沓摺:SUS		フランス落とし アルミ額縁(3方) 沓摺:SUS カバー工法			

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	建具表(1)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	12-1/3
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

符号 名称 個数	AN 11 アルミ製引き違い窓+FIX(3連2段窓) 1	AN 9 アルミ製引き違い窓+FIX(3連2段窓) 2	AN 10 アルミ製引き違い窓+FIX(3連3段窓) 2
姿図			
場所	電気室	ポンプ室	ポンプ室
仕上(枠共)	アルミ B-2	アルミ B-2	アルミ B-2
建具	見込 ガラス 網入り透明 t=6.8 アルミPL-3.0 ガラリ	見込 ガラス 網入り透明 t=6.8 ガラリ	見込 ガラス 網入り透明 t=6.8 ガラリ
建具枠見込 沓摺	100	100	100
建具金物	クレセント	クレセント	クレセント
備考	アルミ額縁 25X100(4方) 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法	アルミ額縁 25X100(4方) 付属金物一式	アルミ額縁 25X100(4方) 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法
符号 名称 個数	AN 12 アルミ製引き違い窓(2連) 2	AG 1 アルミ製ガラリ 1	AG 2 アルミ製ガラリ 2
姿図			
場所	操作室	US上部	電気室
仕上(枠共)	アルミ B-2	アルミ B-2	アルミ B-2
建具	見込 ガラス フロート t=5 ガラリ	見込 ガラリ	見込 ガラリ
建具枠見込 沓摺	70	70	70
建具金物	クレセント		
備考	アルミ額縁 25X100(4方) 付属金物一式 既存スチール枠の上カバー工法	開口率35% 既存スチール枠の上カバー工法	開口率35% 既存スチール枠の上カバー工法

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	建具表(2)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	12-2/3
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

符号 名称 個数	(LSD 1) 軽量スチール製両開き扉 1	(LSD 2) 軽量スチール製片開き扉 1	(LSD 3) 軽量スチール製引違扉 1	(LSD 4) 軽量スチール製両開き扉 1	(LSD 5) 軽量スチール製引違扉 1	(LSD 6) 軽量スチール製片開き扉 1	
姿図							
場所	ホール	事務室	事務室	操作室	操作室	洗面	
仕上 (枠共)	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	
建具	見込	40	40	32	40	32	40
	ガラス	型ガラス t=4	フロート t=3	フロート t=3	フロート t=3	フロート t=3	フロート t=3
建具枠見込 沓摺	100 沓摺: SUS	100 沓摺: SUS	100 沓摺: SUS	100 沓摺: SUS	100 沓摺: SUS	100 沓摺: SUS	
建具金物	SUS丁番 DC フランス落とし モノロック錠	SUS丁番 DC フランス落とし モノロック錠	戸車 掘込引手 引戸錠 SUSフラットレール	戸車 掘込引手 引戸錠 SUSフラットレール	戸車 掘込引手 引戸錠 SUSフラットレール	SUS丁番 DC フランス落とし モノロック錠	
備考	カバー工法						
符号 名称 個数	(SD 1) スチール製両開き扉 1		(WD 1) 木製片開き扉 1	(WD 2) 木製片開き扉 1	(WD 3) 木製引違ガラス戸 1	(WD 4) 片開きふすま 1	(WD 5) 引違ふすま 1
姿図							
場所	電気室		便所	脱衣	休憩室	休憩室	休憩室
仕上 (枠共)	SOP		メラミン化粧合板張り	メラミン化粧合板張り	CL	新鳥の子張り	新鳥の子張り
建具	見込	40	40	40	36	21	21
	ガラス	網入り透明 t=6.8	型ガラス t=4	型ガラス t=4	型ガラス t=4		
建具枠見込 沓摺	100 沓摺: SUS		110 沓摺なし	110 沓摺なし	既存木枠利用		
建具金物	SUS丁番 DC フランス落とし モノロック錠		SUS丁番 レバーハンドル表示錠 (非常時開錠付)	SUS丁番 レバーハンドル表示錠 (非常時開錠付)	戸車 彫込引手	SUS丁番 引手	掘込引手
備考	本締め付モノロック錠		アンダーカット15	アンダーカット15	木製ガラリ 590X50 開口率35%以上		
符号 名称 個数	(SS 1) スチール製電動重量シャッター 1						
姿図							
場所	搬入台						
仕上 (枠共)	スラット: スチール SOP						
建具	見込						
	ガラス						
建具枠見込 沓摺							
建具金物							
備考	マグサ・ガイドレール・ボトムバー: SUS HL シャッターケース: スチール SOP						

工事名	令和3年度印旛沼二期農業水利事業 一本松機場耐震補強その他工事		
図面名	建具表(3)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	12-3/3
会社名			
事業所名	関東農政局 印旛沼二期農業水利事業所		

